

令和8年度当初予算

支出科目	款：総務費	項：企画費	目：研究開発費
担当課	研究開発課		
事業名	デジタル技術開発・移転促進事業（一部国庫）		

目 的

総合技術研究所において、保健環境・工業・農林水産分野の事業者等のデジタル化に必要な技術を開発し、技術移転を推進することで、事業者等における自動化・省力化を加速し、生産性向上・付加価値向上を図る。

事業説明

対象者

県内事業者 等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
総合技術研究所が保有する技術及び知見の移転	先行的な実証の成果に基づく更なる技術開発及び開発技術の移転の促進 ○他分野への展開に向けた応用技術の開発 ○AI等の先端技術を取り入れた新技術の開発 ○事業者等がデジタル技術を試行できるテスト環境等の整備	29,981

成果目標

- ビジョンの施策領域：産業イノベーション
- 取組の方向：企業等の研究開発の支援
- 事業目標：事業者満足度（R6実績）4.4（R8目標）5段階評価4以上

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	29,981	11,887	0	0	0	0	195	0	17,899
前 年 度 当 初 予 算 額	28,422	12,685	0	0	0	0	0	0	15,737

※国庫支出金のうち、地域未来交付金（11,887千円）

令和8年度当初予算・令和7年度2月補正

支出科目	款：総務費	項：企画費	目：研究開発費
	款：農林水産業費	項：水産業費	目：水産業振興費
担当課	研究開発課、水産課		
事業名	かき生産安定緊急対策事業（一部国庫）【新規】		

目 的

身入りの良いかきを持続的に生産できる体制を再構築するため、科学的根拠に基づく養殖管理方法を確立し、環境の変化に対応した養殖方法への転換を支援することで、日本一生産量を誇る広島かきの生産体制の維持を図る。

事業説明

対象者

漁業者等

事業内容

（単位：千円）

内 容		要求額	
		令和7年度 2月補正予算	令和8年度 当初予算
生産改善対策	[当初] ○かきのへい死に係る原因分析 ・現地調査による海洋環境の差異によるかきのへい死状況の把握 ・室内実験による海洋環境条件下でのへい死リスクの検証	—	20,000
	[当初] ○かきのへい死対策 ・漁場環境のリアルタイム観測の実施 ・かきの水深操作など短期的な対策を含めた、へい死対策の実証 ・適正養殖密度による養殖管理など中長期的な対策の検討 [2月補正] ○かきのへい死対策 ・漁場環境モニタリングの項目（塩分濃度及び溶存酸素）の追加	24,228	238,631
	[当初] ○かきの採苗及び種苗管理 ・AⅠを活用したかき幼生調査の支援 ・環境の変化に対応できる種苗を育成するための管理技術の実証	—	532
	[2月補正] ○漁場環境改善 ・かき殻を有効活用した漁場の底質改善	65,509	—
	合 計	89,737	259,163

成果目標

- ビジョンの施策領域：農林水産業
- 取組の方向：持続可能なかき生産出荷体制の再構築
- 事業目標：県と連携して、へい死対策に取り組んだ漁協数（R8目標）36漁協

事業費

（単位：千円）

		事業費	財 源						
			国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	一般財源
要求額	令和8年度 当初予算	259,163	109,850	0	0	0	0	0	149,313
	令和7年度 2月補正予算	89,737	89,737	0	0	0	0	0	0
前 年 度 当 初 予 算 額		0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（65,509千円）、地域未来交付金（109,850千円）

令和8年度当初予算

支出科目	款：総務費	項：企画費	目：企画総務費
担当課	DX推進課		
事業名	A I 活用推進事業（単県）【一部新規】		

目 的

業務内容に応じたA I 技術が適切に活用できる環境を整備するとともに、A I を積極的に活用できる人材の育成を通じて、職員の生産性向上や県民サービスの向上を図る。

事業説明

対象者

県民、県職員

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
県民サービスへのA I 活用	○オープンデータを活用した生成A I による情報提供 ・県民からの問い合わせに対し、特定の複数データからA I が情報を収集し一つに統合して、対話形式で返答するWEBサイトの運用 ～ひろしま移住A I ナビの運用	18,902
職員のA I 活用 【一部新規】	○汎用的なA I ツールの活用 ・文章の生成・校正や企画のアイデア出し等の業務支援ツールの運用（文章生成A I） ・会議等における音声データを文字データに変換する業務支援ツールの運用（A I 議事録）	13,559
	○業務に特化したA I ツールの活用【新規】 ・A I のカスタマイズにより、個々の業務にも対応可能なチャットボットなどを作成できる環境の構築	19,000
A I を活用する人材育成	○DX推進アンバサダーの育成 ・A I などのデジタルツールと業務の双方を理解し、施策や業務に取り入れ、業務改革などを推進する職員の育成	8,718
合 計		60,179

成果目標

○ 事業目標 ： 職員がA I を効果的に活用している状態（R8目標）

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	60,179	0	0	0	0	0	0	0	60,179
前 年 度 当 初 予 算 額	39,679	1,709	0	0	0	0	0	0	37,970

